

01

チームプレイによる 現場監督の長時間労働解消 / 株式会社西九州道路(佐賀県)

概要

当社では、現場監督と将来の現場監督候補である「現場監督補佐」、施工管理書類作成のプロである「建設ディレクター」で分業し、チーム体制で業務を行っています。

背景

長時間労働をはじめとする現場監督の労働環境の厳しさが監督業の魅力を下ろさせ、特に若者の離職を誘発していると考え、是正に取り組みました。

取組内容

現場監督補佐の活用

これまで現場技術者が一人で行っていた現場監督業務を2名体制とし、現場監督補佐が、現場代理人として現場技術者のフォローを行います。

現場監督補佐は、経験が乏しい新人社員が主に担いますが、ベテランと組むことで早期戦力化を図ることができ、いきなり監督を任されるといった心理的障壁の低下にもつながっています。

若手の現場監督は、経験の少なさや年齢差から、ベテラン職人の多い現場のとりまとめに苦労することが多く、このことが担い手不足に拍車をかける要因の一つとなっています。

現場監督補佐のポジションでは、補佐として現場経験を積めるため、将来の現場監督を育成するとともに、定着を図るための有効手段となっています。

建設ディレクターの養成

書類のプロである建設ディレクターを養成します。現場監督の書類仕事のうち、移管可能なものを引き受けます。また、建設ディレクターは経験の浅い現場監督補佐のフォローを行うこともあります。

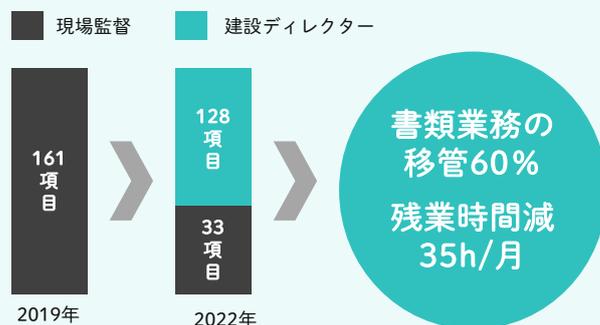
取組成果

チームプレイの実践により残業時間は減少し、定時退社が普通になりました。

また、分業体制の構築によって人員配置が柔軟になり、受注量も増加。売上・利益に貢献するという効果も生まれています。

さらに、採用活動にも良い影響を与えており、現場監督補佐を希望する就職希望者が増加しています。

建設ディレクター導入等による書類業務移管の推移



出所 (一社)建設ディレクター協会資料“カナイテ”(表現を一部加工)

会話を意識した事務所デザイン

当社は、カフェの雰囲気に着想を得た事務所デザインを行っています。

机の配置にこだわり、これまでの課長と部下といった上下関係を意識させる席配置をやめ、円卓形式のレイアウトに変更しました。

また、静かな職場は話づらいと考え、音楽を流したり、観葉植物を設置したり、困りごとを気軽に話せるような雰囲気づくりを意識しました。

Another
ACTION!



オフィスの様子 / 円卓形式に机を配置し、中心には観葉植物を設置しています

代表者 江頭 一樹
住 所 佐賀県佐賀市鍋島1丁目8番2号
連絡先 0952-31-8191
事業内容 舗装・土木・橋梁補修工事
従業員数 50名
設立年月 1965(昭和40)年1月